

血圧測定(乳児)

1 準備

使用物品が正しく作動するか確認する

2

これまでの血圧値、測定部位を把握する

5

子どもと家族に測定について説明する

6

手洗いをを行う

1 血圧測定(触診法)

衣類が厚く測定部位を圧迫したり、袖口がきつく締めつけられていないか確認し、必要なら測定側の衣類を脱がせる

2

血圧計を安定した場所に置く

3

上腕部に適切な幅(上腕の2/3を覆うもの)のマンシエットを、適切な部位に巻く

4

マンシエットを巻く部位が心臓と同じ高さになるように体位を整える



5

マンシエットを巻いた部位より末梢で橈骨動脈または上腕動脈の拍動を確認する

6

動脈を触れながら1秒間に10mmHgの速さで加圧する

7

動脈の拍動が消失したところから、さらに10~20mmHg高い値まで加圧する

8

1秒間に2~3mmHgの速さで圧を下げる。再び拍動が触れる点が収縮期血圧である

9

子どもに血圧測定の終了を伝え、協力できたことを褒める

10

測定値を家族に報告するとともに、子どもの衣類を整える。使用した物品を片づける

1 血圧測定(聴診法)

①~④までは触診法に同じ

5

マンシエットを巻いた部位より末梢で橈骨動脈または上腕動脈の拍動を確認する



5

拍動が触知された部位に聴診器を当てる



6

子どもの通常の収縮期血圧値からさらに10~20mmHg高い値まで加圧する

7

1秒間に2~3mmHgの速さで圧を下げる

8

脈拍が聞こえたところが収縮期血圧、脈が聞こえなくなったところが拡張期血圧である

9

子どもに血圧測定の終了を伝え、協力できたことを褒める

10

測定値を家族に報告するとともに、子どもの衣類を整える

11

使用した物品を片づける

血圧測定(幼児・学童)

1 準備

使用物品が正しく作動するか確認する

2

子どもの年齢の基準値に加え、通常の血圧値を把握しておく

3

血圧測定が可能な状況か判断する

1

子どもと家族に説明する

子どもにわかりやすい言葉で血圧測定をすることを伝える。学童期以降で理解可能な子どもには測定の目的も説明する

2

家族に血圧を測定することを伝え、必要に応じて協力を依頼する

1

上肢での血圧測定(聴診法)

衣類が測定部位を圧迫しないように調整する。衣類が厚い場合や袖口がきつい場合は、測定部位の衣類を脱がせる

2

上腕部または前腕部にマンシエットを巻く。マンシエットは指が1~2本入る程度に巻き、下縁が関節の1~2cm上になるようにする



測定部位と心臓が同じ高さになるように体位を整える



3

上腕部で測定する場合は上腕動脈、前腕部の場合は橈骨動脈の拍動を確認し、聴診器を当てる

4

年齢別基準値あるいは子どもの通常の収縮期血圧より15~20mmHg高い値まで加圧する

5

排気弁を緩め、1秒間に約2mmHgの速さで徐々に減圧する

6

減圧しながら、最初に脈拍音を聴取した点(収縮期血圧)と脈拍音が消失した点(拡張期血圧)の値を読む

7

拡張期血圧が測定できたら速やかに排気弁を緩める

8

子どもの衣類を整えながら、測定が終了したことを伝え、子どもの頑張りを褒める

1

下肢での自動血圧計による測定

衣類が測定部位を圧迫しないように調整する。衣類が厚い場合や裾が狭い場合は、衣類を脱がせて測定する

2

大腿部または下腿部にマンシエットを指が1~2本入る程度に巻き、下縁が関節の1~2cm上になるようにする



可能な限り測定する下肢が心臓と同じ高さになるように体位を整える

3

電源を入れ、モニターで0点表示になったことを確認する

4

子どもの通常の収縮期血圧より15~20mmHg高い値まで加圧する



5

測定終了音が鳴ったら、測定値を読み取る

6

子どもの衣類を整えながら、測定が終了したことを伝え、子どもの頑張りを褒める

静脈血採血

1 必要物品の準備

必要物品を準備する

- ・検体の種類、採血量を確認する



①②血算用採血管(①通常の採血管, ②微量採血管),
③④血清用採血管(③通常の採血管, ④微量採血管)

2

物品を採血しやすいように配置する。子どもに見えないよう布やシートをかけておく



1

子どもの準備

子どもと家族に検査について説明する

- ・採血の目的と方法を説明する。発達段階に応じたプレパレーションを行う



- ・子どもの氏名・生年月日が検体ラベルの印字と一致していることを確認する

2

子どもの姿勢を整える

- ・その子の様子や理解力、その子の希望に合わせて、座位・臥位を選択する



3

駆血帯を巻き、採血部位を選択する

- ・駆血する前に、腕が締めつけられることを説明する
- ・正中→橈側→尺側の順に選択する



1

採血する

採血者の準備をする

- ・採血者は速乾性消毒薬で手指消毒を行い、ディスポーザブル手袋を装着する

2

採血部位の固定をする

- ・介助者は採血部位が動かないように上下の関節(例：肩関節と手関節)を固定する



- ・必要時、絵本やDVDなどでディストラクションを行う

3

穿刺部を消毒し、穿刺する

- ・穿刺部位をアルコール綿で消毒し、乾燥させる
- ・穿刺部位の皮膚を伸展させ、15～30度で穿刺する



4

真空採血管またはシリンジで血液を採取する



5

駆血帯を外し、乾綿を穿刺部に当て、抜針する

6

止血し、絆創膏を貼る。子どものがんばりをねぎらう

7

採取した血液をスピッツに分注する

8

使用した物品を片づける
・ディスポーザブルでないものは消毒する

採尿

1 排尿が自立している場合

●採尿コップの場合

- ・子どもに採尿コップを渡し、尿を採るように伝える
- ・子ども自身での採尿が難しい場合はディスポーザブルエプロン・手袋を装着して介助する

●採尿コップでの採取が難しい場合：以下を検討する

- ・便器にユーリパンをセットして採取
- ・ポータブルトイレまたはおまるにビニール袋をセットしたものを用意して採取
- ・ベッドで尿器を使用して採取



- ・女兒の場合：採取口の下縁が会陰にくるように貼付する



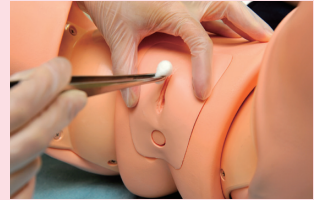
貼付面を折り曲げて貼る



殿部側に補助固定用テープを貼る

- ## 2
- 手指衛生後、ディスポーザブル手袋を装着し、10% ポビドンヨードまたは0.025% ベンザルコニウム塩化物で尿道口を消毒する

- ・男児：包皮を反転させて亀頭を露出し、尿道口から外側に向かって
- ・女児：外陰部を開き、尿道口を上から下に向かって



- ## 3
- 先端に潤滑剤をつけたカテーテルを、手袋を装着した手で持ち尿道口に挿入する

- ・男児：陰茎を垂直方向に持ち上げて挿入
- ・女児：外陰部を開いたまま挿入



- ## 4
- 尿の流出が確認できたら、そこから数cm進める。採尿コップに尿を採取する

- ## 5
- カテーテルをゆっくり抜去する。カテーテルなどを廃棄し、手袋を外して手指衛生を行う

- ## 6
- 子どもの衣服を整える

1 排尿が自立していない場合

手指衛生を行い、ディスポーザブル手袋を装着する

2 陰部を清拭する



- ・尿道口、採尿バッグ貼付部位までを清拭用コットンなどで清拭する

3 採尿バッグを貼付する

- ・男児の場合：採取口の下縁が陰茎の根元にくるように貼付する



4 おむつをして、衣服を整える

- ## 5
- 手袋を外し、手指衛生を行ってから時間をおいて排尿しているか確認する

- ・年齢、普段の排尿の間隔、輸液の状況、経口摂取状況などをふまえてタイミングを考慮し、採尿できているか、また必要な量が採尿できているか確認する

1 導尿による採尿

物品を準備し、子どもの衣服を脱がせ、体位を整える